

いわて高校生小論文コンクール

宮本里桜さん(2年)が最優秀賞

岩手県立大学が主催する「2021年いわて高校生小論文コンクール」で、宮本里桜さんの作品「『文』の足音」が応募170作品の中から最優秀賞に選ばれました。



宮本里桜さん(2年)

今年のコンクールのテーマは「文」。宮本さんは、「文」の字の形を「足が生えているみたいで歩き出しそう」と表現し、たくさんの読み方や意味がある「文」のおもしろさを、ユーモアのある軽快な文章で論じました。

読書やイラストを書くことが好きという宮本さん。「好きな作家は宮沢賢治。将来の夢はイラストレーター」と、これからも表現することへのチャレンジが続きそうです。

ふるさとCM大賞 in IWATE 2021

岩手朝日テレビ主催「ふるさとCM大賞 in IWATE 2021」に、葛巻高校生が制作した作品を応募しました。審査発表の様子は次のとおり放送されますのでご覧ください。

▷岩手朝日テレビ
▷放送日時 12月30日(木) 正午~

バスケット部チャリティーTシャツ

7万円を寄付・地域の協力に感謝

葛巻高校バスケットボール部は、国内外の被災地支援を目的に、チャリティーTシャツを制作し販売しました。

Tシャツは1枚3,500円で販売し、その利益は全て被災地に寄付されました。7月から10月までに集まった約7万円の寄付は、熱海市の土砂災害やハイチ大地震などの義援金として送られました。

部長の中村みわさん(2年)は「コロナ禍でさまざまな活動が制限される中、自分たちができることは何かを考えた。たくさんの方に協力してもらえて感謝している。次は試合で結果を残して、頑張っていることを伝えたい」と次の目標を掲げていました。



チャリティーTシャツを着て笑顔の部員の皆さん

町民まつりで葛巻高生の活躍光る

10月23日と24日に開催された第47回くずまき町民まつりでは、さまざまな企画の実施や参加、イベントスタッフとしての対応など、多くの場面で葛巻高校の生徒が活躍していました。学びを深めながら地域のイベントを盛り上げた高校生をレポートします。



①買い物客でにぎわう店内②店舗前に貼り出した手書きのチラシ③販売した商品(沖縄県北中城村の菓子類)

山村生出身地の特産品など販売

新町の空き店舗で開催された「葛巻おでつてマーケット」は、2年A組の生徒たちが商業科目の学習で企画しました。マーケットでは、山村留學生の出身地から特産品やお土産を取り寄せて販売しました。会場には買い物客が途切れることなく訪れ、商品の袋詰めを担当した松原琉華さんは「思ったより大変だったけれど、就職のイメージを持って

た」と話し、本宮愛笑さんは「仕入れの電話や見積書の作成など、事前の準備が大変だった」と初めての取り組みの苦労を振り返ります。山村留學生の成澤瑠衣さん(神奈川県出身)は「自分の地元では有名なお土産品も葛巻ではほとんど知られていなかった。たくさん買ってもらえてうれしかった」と、予想以上の売れ行きに驚きながらも山村留學制度がある葛巻高校ならではの企画に、充実した表情を見せていました。

マーケットは2日間、約19万円を売上げ、利益は約1万3000円とのこと。店長を務めた中野汰久也さんは「地域の人がたくさん声をかけてくれてうれしかった。平日に開催したらどうなのか興味があるし、ほかのイベントや違う会場でも試してみたい」と手応えを感じた様子でした。

会場盛り上げる牛乳早飲み大会

JR葛巻駅構内のメイン会場では、くずまき型DMO若者高校生部会のメンバーが、町の特産品の販売促進として「牛乳早飲み大会」を開催しました。くずまき高原牧場の牛乳200mlを、ストローを使って飲む速さを競うこのイベントには、子どもから大人まで60人が参加しました。高校生への声援を受けながら牛乳を飲みきった参加者は、一様に「おいしかった」と笑顔を見せ、高校生らしい企画に、会場はひととき盛り上がり上がっていました。



牛乳早飲み大会を盛り上げる高校生

地域活動を通して町への愛着を育む

このほかにも、今年の町民まつりでは、会場の受付や、全国新積みコンテストへの出場など、高校生が関わる姿が多数見られました。高校生たちは、長期間コロナ禍で地域活動が制限されていたため、久しぶりの地域のイベントで仲間や地域住民との交流を深め、それぞれの活動を存分に楽しんだ様子でした。今後も、高校生が地域のにぎわいづくりへ関わりながら学びを深め、町への愛着が育まれることが期待されます。

公営塾は葛巻高校の隣にあり、学校の授業の予習・復習、定期テスト対策、受験勉強など様々な勉強を行うことができます。自分のやりたい勉強に沿って先生がカリキュラムを組んでくださり、自学を進めていきます。分からないところは先生が分かるまで丁寧に教えてくださります。私が葛巻高校を選んだ理由の一つが公営塾があるということです。公営塾に通うことで勉強を習慣化できます。寮だといったらだらだらとしてしまうことも多いので、私は学校帰りはほとんど塾に行っています。また、塾で自習をしていると疲れてきて周りに頑張っている友達がいるので、自分も頑張ろうと思えることができます。私は塾の帰りに送迎のバスに乗ることがとても好きで、「遅くまで頑張った!」と達成感を感じます。一人ではなかなかやる気が出なくても、同じように頑張る仲間がいることで互いに高め合うことができます。

塾で学習を習慣化



地域からい留学365 宮田璃杏(2年)

高校生記者の宮田璃杏です。葛巻町のきれいな空に、毎日癒やされていきます! 今回は、葛巻町学習塾についてお伝えします。



高校生記者レポート



塾の先生から助言を受ける璃杏さん